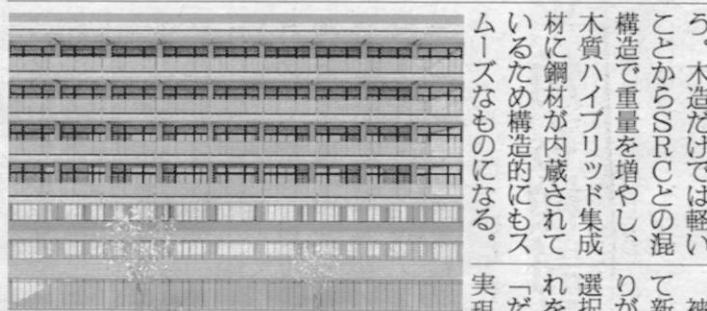


横ハイブリッド構造で津波避難ビル

SRCとの混構造で重量を増す

チーム ティンバライズ

チーム ティンバライズ。木造だけでは軽いイズは、木を新しい材として捉え、都市木造を提案する研究者らのグループで、昨年5月には東京・表参道で「都市木造のフロンティア展」を開催した。今回のビルでは鋼材内蔵型のハイブリッド集成材（1時間耐火構造の認定を取得）、上層階4階を木質化できることから、下層階3階分をSRCという形で提案した。



木質ハイブリッド構造で提案された津波避難ビル

被災地の復興に向けて新たなビジョンづくりが必要だが、多様な選択肢の一つとしてこれを提案することで、「だれかの目に触れて実現する可能性もある。木材を現地で使用する価値を見出す人もいないではない」とメンバーの久原（ス）氏は、津波避難ビルのはかに、仮設のキットハウスを提案もしている。サポーターを充実して安心安全な建物の提供を「していきたい」とあいさつした。

「単に仮設住宅と応用できるように考えては、復旧にた」という。ビルは長手方向には壁を少なくし、ガラスを津波が破って進むことで津波波力を逃がしていくことも考慮している。構造強度が低いと壁が多く閉鎖的なものになっていくので柱を500mm角、600mm角など、梁を600mm角、300mm角などの断面の鋼材内蔵型のものとした。既にプロトタイプを製作している。スパンを変え、柱の寸法などに応じて算定できるようなになっている。

CADオペレーターの養成支援

全国木造住宅機械プレカット協会総会

宅機械プレカット協会（櫻井秀弥会長）は23日、東京都内で総会を行い、一般社団法人へ移行して「一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会」になった。会長は櫻井氏が再任された。櫻井会長は「プレカット業界では、今後、CAD入力スタッフの業務支援が重要になる。協会としてもサポートを充実して安心安全な建物の提供をしていきたい」とあいさつした。



あいさつする櫻井会長

7月16日、大震災復興で討論

京大フィールド科学研究センター

学と沿岸管理、東北沿岸の復興をどう進めるか」というテーマで、現場からの発言と討論を行う。講演は、「2011年東北地方太平洋沖地震」（国際高等研究所の尾池和夫氏）、「漁業復興へ向けての取り組み」（水産総合研究センターの高柳和史氏）、「復興に向けた災害がれきの問題」に関する現地報告（京都大学社会連携教授、NPO「森は海の恋人」の山重篤氏）。

討論は京都大学の向井宏教授が司会、前記各氏に田中克氏（国際高等研究所）、吉岡崇仁氏（京都大学）が加わって行われる。午後1時から開演、定員は300人、参加費は無料。

した。「J・ファーストステージ」は2階建てで30坪、工期は約2カ月。価格は27坪で930万円からの設定。同社は、10年10月期は注文住宅で972棟を受注したが、11年10月期には1000棟までの拡大を目指す。

本社ビルの工事現場公開 ポラテック ポラテック（埼玉県越谷市、中内見次郎社長）は、木質ハイブリッド構造で建設中の本社ビルを越谷阿波踊り

仮設住宅を巡る状況

□□ 3 □□

一方で宮城県では、プレハブ仮設のみで建設について、短期間で建設が可能であることとをその理由に挙げていた。地元業者への発注を行わなかった理由について関係者は、「そこまで被災自治体の手が回らない、というのが実情のようだ」と話す。

「仮設住宅を巡る状況」が進行しているために後から用地選定が困難なこと、仮設住宅を含まない仮設住宅の苦情処理に処理するだけで精一杯、という。

複雑化する地域の実態と被災者ニーズ

こうした各県の仮設建設に対するスタンスの違いはあるが、前述のように一部市町村が独自に地元建設業者に仮設建設を発注するケースも存在する。国土省のまとめによ



板倉構造で建設中の仮設住宅

「3430戸にとどまる」ことが分かる。これは建設適地の少なさに加え、仮設住宅の住まい環境に対する不安感から、民間賃貸住宅への入居の増加が要因と

「東北、北関東に6営業所を増設」 東日本ハウス 東日本ハウス（岩手県盛岡市、成田和幸社長）は、復興支援を強化するため、岩手県宮古、金石、大船渡、宮城石巻、気仙沼、福島県南相馬、郡山に新たに出張所を開設し、同地域での営業を強化する。気仙沼以外の営業所は既に増設済み。「東北発祥の企業として、復興支援に全力で取り組む」と（成田社長）。

復興支援商品も発売 復興支援商品も発売

大総力祭

元気になろう日本！復興決起！

浦安市場 開設26周年記念市

式典 12時30分より 開市 午後1時より

買方お宝 蔵出し市 午前10時30分より

乾燥材・銘木各種！希少価値商品満載！！

買方様一人でも多くのご来場を心よりお待ち申し上げます。

東京中央木材市場株式会社

〒279-0032 千葉県浦安市千鳥13番地 TEL 047-355-0001 FAX 047-355-1313

2011 7/9

ジャパン建材(株) 協力出展

省エネ・エコ・耐震展示コーナー

剥離検査装置 (パンク発見器)



☆合板・パーティクルボード・MDF・LVL・窯業系外壁材等の剥離（パンク）空洞の検査。

☆生産ラインでの高速検査。（～150m/min.）

☆目的に応じたセンサー数の選択が可能。 10ch・20ch・30ch

※杉合板対応新機種開発

製造元 有限会社日生電子 TEL. & FAX. 042-591-2636

総発売元 岩田機械産業株式会社 TEL.03-3687-1171 FAX.03-3687-1170